

消防だより

令和8年(2026年)
5月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 5件
救急 : 552件
救助 : 12件

令和8年度全国統一防火標語 「火の確認 いい日を支える いい習慣」

台風に対する備え

夏から秋にかけて日本に接近、上陸する台風。強風や大雨による被害は、河川の氾濫、土砂災害、停電、建物の被害など多岐にわたります。

台風は事前に予測可能な災害です。早めの備えで被害を減らすことができます。

● 台風の前にできる備え

- ・物干し竿や植木鉢など、強風で飛ばされそうなものは屋内へ移動する。
- ・雨どいや側溝は掃除し、水はけを良くする。
- ・停電や断水に備え、スマートフォンや充電や飲料水、生活用水を確保する。
- ・家族で避難場所や連絡方法を共有し、危険が及ぶ前に避難する。
- ・避難時に持ち出せる非常用持ち出しバッグを準備し、定期的に確認をする。

5月29日(金)より新たな防災氣象情報の運用が開始されました。住民が取るべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されます。早めの避難、安全の確保を心掛けましょう。

水難事故

海や川、プールなどで遊ぶ人が増えることに伴って、水の事故も発生しています。水の事故は一瞬の油断で、命に関わる重大な事故につながります。安全に楽しむためには、正しい知識と事前の準備が大切です。

● 危険なポイント

- ・見た目が穏やかでも、流れが速い場所。
- ・急に深くなる場所。
- ・足元が滑りやすい岩場。

● 安全に楽しむために

- ・ライフジャケットを着用する。
- ・遊泳可能エリアで遊ぶ。
- ・天気予報を事前に確認する。
- ・小まめに休憩を取る。

● もしものときは

- ・すぐに119番通報する。
- ・溺れている人に浮くもの(ペットボトル・クーラーボックスなど)を投げる。
- ・周囲の人に助けを求める。

● 子ども連れの方へ

子どもは少し目を離しただけでも、流されたり溺れたりすることがあります。水辺では必ず手の届く範囲で見守りましょう。

おもちゃ花火で楽しい夏を！

おもちゃ花火は、家族や友人と手軽に楽しめる夏の風物詩として親しまれます。

しかし、ちょっとした不注意が大きなけがや火事につながる可能性があります。おもちゃ花火で遊ぶときは、次のルールを守って、楽しく安全に遊びましょう。



● 使用のルール

- ・水の入ったバケツを用意し、使い終わった花火は完全に消火する。
- ・たくさんの花火に一度に火を付けない。
- ・燃えやすいものがある場所で遊ばない。
- ・風が強い日は花火をしない。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎ 073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎ # 8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎ 073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)